

※文字の大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。  
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

<p><b>研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート</b></p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、&lt;award@ml.nits.go.jp&gt;宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p>	<p>※事務局記入欄</p> <p><b>受理No. : C-14</b></p>
<p><b>【学校名・氏名】</b> 栃木県鹿沼市立栗野中学校 上澤 高子</p>	<p><b>【応募部門】</b> 地域とともにある学校実践部門</p>
<p><b>【修了研修名】</b> 平成30年 第5回 中堅教員研修</p>	
<p><b>【活動名】</b> オープンスクール 誇れる学校づくり・街づくり</p>	
<p><b>解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？</b></p> <p>本校は、鹿沼市の山間部にあり、5つの小規模・極小規模小学校から生徒が集まる。近年、急速な少子化の進展により、小学校閉校や複式学級が増加している。このような現状から、保護者世代間では教育の質に対して、また、地域住民は地域衰退に対して大きな不安と危機感を抱いている。そこで、本校の強みを生かした学校組織マネジメントの実践・特色ある学校づくりの推進を通し、学校・地域に誇りをもち、自他を大切にしながらしなやかで逞しい生徒の育成を図っていく。そして、心豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの活性化を推進していく。</p>	
<p><b>目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？</b></p> <p>学校は、教育の原点であると同時に地域創生の核でもあり、子供たちは地域と触れあうことで多様なものの見方・考え方が醸成される。地域力を高めコミュニティづくりの活性化を図り、誇れる街づくりにつなげて行くことは子供たちの成長にも大きく影響すると考える。地域をあげて生徒を育てていくには、学校に関心をもってもらうことが不可欠である。学校が核となり地域の活性化が図れるよう、地域コーディネーターを中心とした組織を充実させ、つながりづくりを充実させていく。そして、年2回のオープンスクール期間を設定し、たくさんの地域の方々に足を運んでもらい、学校・生徒の様子を知っていただく。そのために、学校をまるごと美術館にしたり、音楽家をよんでコンサートを行ったりするなど、真の芸術に触れる機会を意図的に設定し力を入れていくとともに、地域ボランティア・生徒ボランティアによる食の提供をしていく。</p>	
<p><b>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</b></p> <p>○職員研修・・・「栗中の強み・弱み」についての洗い出し        ○推進体制整備・・・鹿沼市の地域とともにある学校づくり事業（オープンコミュニティ実行委員会）と栗野中のオープンスクール(オープンスクール実行委員会)の連携・協働        ○年に2回のオープンスクール期間と春フェス・秋フェスの実施        ・絵画、彫刻の作品展示(およそ80点)と作家によるギャラリートーク・美術鑑賞授業の実施        ・オープンスクール時以外も作品を常設        ・校内水の広場での音楽家や生徒(吹奏楽部・合唱等)によるコンサートの実施        ・バラ園鑑賞、遊歩道の整備・・・ボランティアを募り、生徒と大人がペアとなり管理・育成活動        ・栗中カフェ・・・地元食材を利用した食の提供と生徒会企画のローズクッキー販売等        ・花マップ作成・・・四季折々の地域の花マップを作成(地元在住のプロカメラマンの協力)        ・水の広場での水生植物の飼育と管理        ・ポスター・DMの制作とケーブルテレビや新聞等のメディア活用、市長・教育長・学校評議員等の招待        ・地域ボランティアの公募        ・小中連携、中一ギャップ防止・・・6年生の招待        ○ホームページ更新率のアップ        ○学校だよりで発信・・・地域とともにある栗中・特色ある学校づくりコーナー</p>	

		
<p>作家さんとの美術鑑賞授業</p>	<p>水の広場コンサート 1</p>	<p>水の広場コンサート 2</p>
		
<p>栗中バラ園</p>	<p>ローズクッキーづくり</p>	<p>6年生を招待</p>
		
<p>花マップ・城山公園のつつじ(生徒撮影)</p>	<p>栗中カフェ</p>	<p>地元食材メニュー例</p>
		
<p>園児の水生植物観察</p>	<p>バラの育成管理ボランティア</p>	<p>オープンスクール実行委員会</p>
<p><b>活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？</b></p> <p>○生徒から、「自分の学校に大勢の人が来てくれることを誇らしく思う。」「卒業しても学校に来たい。」「大人になって自分にできることがあれば進んで協力したい。」「人と接することは苦手だったが、栗中カフェの運営に参加して、自信がついたような気がする。」「栗野にずっと住みたい。」などの声が聞こえるようになった。        ○鹿沼市や栗野地域でのボランティアやイベントに参加する生徒が増えてきている。        ○地域とのつながりが広がり、ヒトやモノなど、学校に「外の風」が入りやすくなった。</p>		
<p><b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアニスト、津軽三味線、ゴスペルなどの音楽や絵画・彫塑の作家さんの作品に「学校」で触れることができる。</li> <li>・米や苺などの食材、四季折々の花、支援して下さる方々等、「地元」にこだわっている点。</li> <li>・学校と4地区のコミュニティ推進協議会、各自治会、コミセン等の連携・協働を図る推進体制。</li> </ul>		